

○ ウイルス

● SFTSウイルス (Severe fever with thrombocytopenia) の検出【所要時間：約17分】

重症熱性血小板減少症候群の症例血漿検体（イヌ・ネコ）を用い、SFTSウイルス遺伝子をマイクロ流路型遺伝子定量装置 GeneSoC®で検出しました。【所要時間：約17分】

○ 症例サンプル

- EDTA処理血漿 0.1 mL + DNA/RNA Shield 0.3 mL
- SFTSV陽性検体5検体、陰性検体5検体

○ 核酸抽出

- magLEAD 6gC (プレジジョン・システム・サイエンス株式会社)

○ 使用機器、及び試薬

- マイクロ流路型遺伝子定量装置 GeneSoC®
- GeneSoC® 専用測定チップ
- GeneSoC® RT-PCR Master Mix
- GeneSoC® 専用添加剤

○ プライマー及びプローブ

SFTSウイルス L, M 遺伝子
Sun Y et al. J Clin Virol (2012)

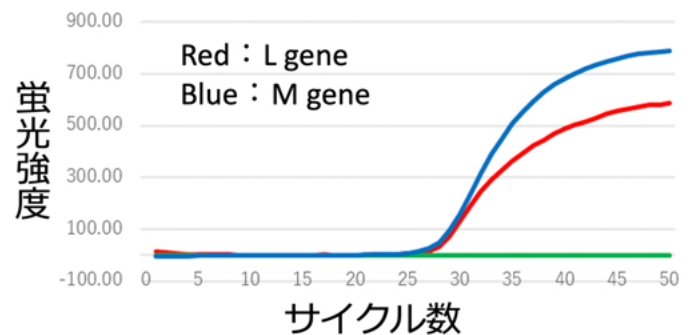
関連製品

- 超高速リアルタイムPCR装置 GeneSoC® mini R
- GeneSoC® mini専用測定チップ
- GeneSoC® PCR Master Mix

※本研究はマイクロ流路型遺伝子定量装置 GeneSoC®を用いて行った研究となりますので GeneSoC® mini Rでご検討いただく際はご相談ください

【データご提供】

東京大学 大学院農学生命科学研究科附属動物医療センター 後藤裕子先生



○ 測定プロトコール【所要時間：約17分】

	温度(°C)	時間(sec)	Cycle
RT	42	60	1
HS	96	10	1
DN	96	4	50
AE	60	10	

(所要時間：約17分)

- HS : Hot Start
- DN : Denature
- AE : Annealing / Extension

マイクロ流路型遺伝子定量装置 GeneSoC®により、短時間でリアルタイムRT-PCRを行うことが可能であった